

我が国周辺漁業資源調査

—福岡市漁協小呂島支所における漁業就業構造の変化—

宮本 博和

福岡県では、TAC制度の施行（平成9年1月）にあわせ、管理対象魚種の漁獲、出荷、流通の状況および管理対象漁業の操業や経営実態を明らかにし、管理計画を作成しTAC制度の円滑な遂行を目的とする調査を実施している。

今年度は、今後の管理対象漁業（中型まき網）の将来方向を検討するための基礎資料として、福岡市漁協小呂島支所における漁業就業構造の変化の実態についてとりまとめた。小呂島支所の位置を図1に示した。

$$\text{世代更新度 (\%)} = (A/B) \times 100$$

A：父親世代(B)と25歳間隔の後継世代の男性就業者数。本報では15～19歳、20～24歳、25～29歳、30～34歳、35～39歳の5階層を後継世代と設定した。

B：父親世代の男性就業者数。本報では40～44歳、45～49歳、50～54歳、55～59歳、60～64歳の5階層を父親世代と設定した。

材料及び方法

統計調査 漁業センサスを用い、県全体、筑前海区全体及び小呂島支所における漁業就業者の年齢構成の推移をみた。漁業センサスは、最新の平成10年分及び、現行の漁業地区分類となった昭和58年分を用い比較検討を行った。なお、漁業センサスの小呂島地区の資料を小呂島支所分とみなし、就業者の大部分を占める男性就業者についてみた。また、漁業後継者の確保状況を検討するため、加瀬¹⁾に従い世代更新度を次式により算出した。

アンケート調査 平成3年11月及び平成15年2月に実施した、漁業就業構造に関するアンケート調査結果を用い、小呂島支所における漁業種類別の変化をみた。なお本報では、小呂島支所の男性就業者の、①主たる漁業種類、②従たる漁業種類の2項目について整理した。

さらに、上記2調査を補足するため、漁協職員等から、中型まき網漁業等における就業実態等について聞き取り調査を適宜実施した。

結果及び考察

1. 統計調査

(1) **年齢構成の推移** 男性就業者の年齢構成の推移を図2-1～3に示した。県全体及び筑前海区とも、戦後の新規参入世代でキー階層であった昭和一桁世代が長期間にわたり、本県の中核漁業者として沿岸漁業を担ってきたのに対し、²⁾ 小呂島支所では近年は、昭和一桁世代より、むしろその後継世代が主体を形成している。これは、同じ筑前海区の鐘崎漁協³⁾と同様に、小呂島支所の基幹漁業であり、船団構成で操業し体力が要求される中型まき網漁業において、昭和一桁世代からの早めで円滑な世代交代がなされていることの表れと考えられた。さらに、鐘崎漁協との違いとして、小呂島支所では中型まき網漁業は「まき網組合」としての組織的運営がなされており、⁴⁾ 「まき網組合」における定年制の導入（満62歳の12月末まで）もこの円滑な世代交代を後押ししているものと考えられる。

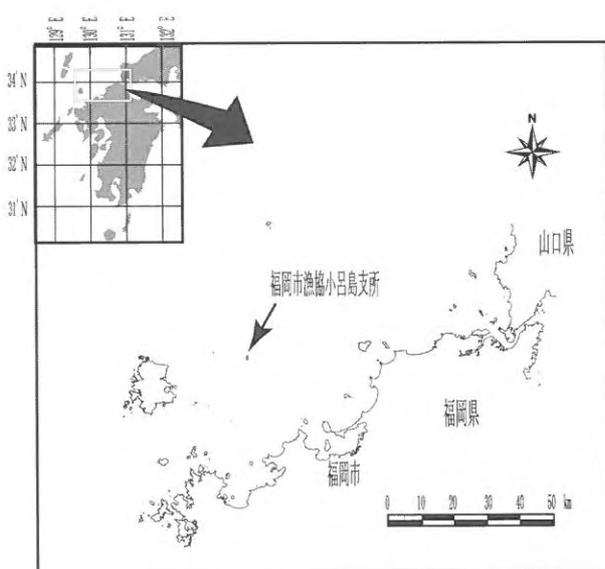


図1 調査対象漁協の位置図

(2) 世代更新度 世代更新度の推移を図3-1~3に示した。昭和58年当時では、県全体及び筑前海区ともほとんどの漁業者が50代半ば以降で後継者を確保できていたのに対し、小呂島支所では40代半ばにはすでに後継者が確保された状態となっている。平成10年では県全体及び筑前海区ともに、50代半ば以降でも約半数の漁業者が後継者を確保できていないが、小呂島支所では支所単位と漁業者総数が限られてくることもあり、階層間の格差が非常に大きくなっている。

2. アンケート調査

主たる漁業種類別就業者数(割合)を表1-1・2に示した。平成3年、平成15年とも1位：固定式刺網、2位：一本釣の順であり、両者でほぼ100%を占める状態には変わらないが、その内訳を見ると、固定式刺網が約70%から約80%へと増加し、一本釣は約30%から約20%へと減少していた。補完のため実施した聞き取り調査によれば、一本釣が中型まき網を定年で引退した漁業者の着業漁種であり、近年、高齢者の死亡等により就業者が

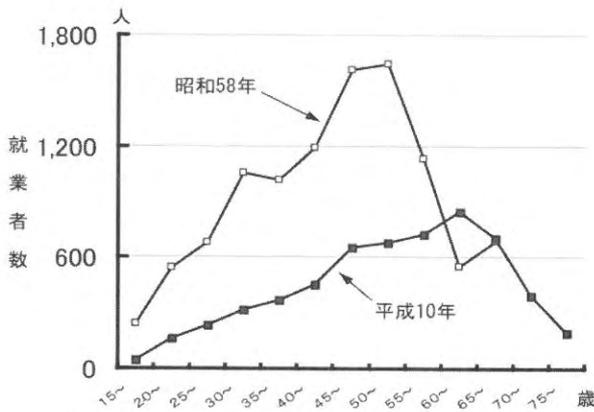


図2-1 年齢構成の推移 (県全体男性)

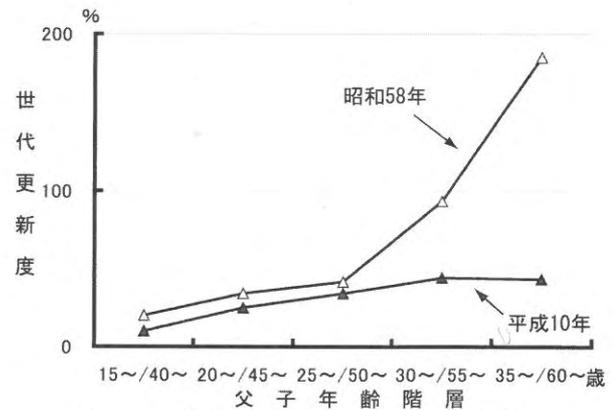


図3-1 世代更新度の推移 (県全体男性)

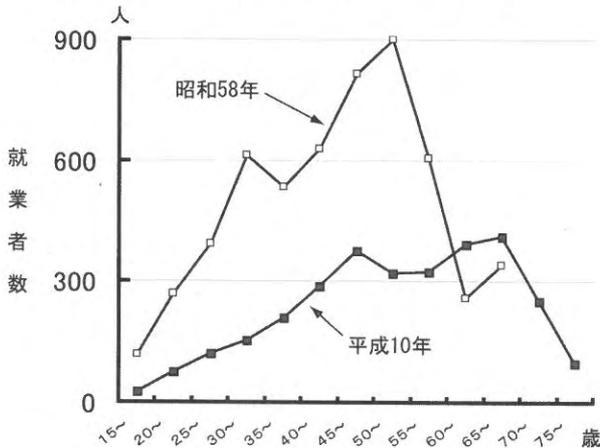


図2-2 年齢構成の推移 (筑前海区男性)

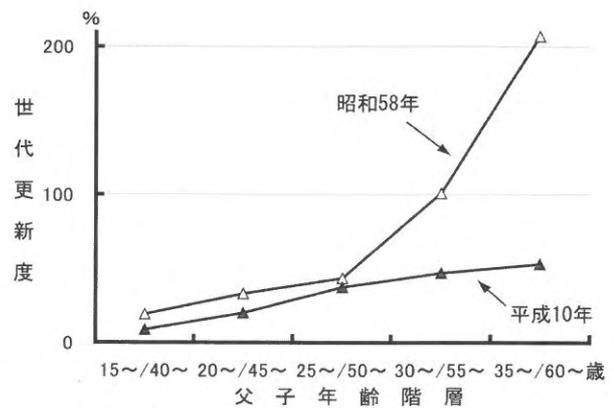


図3-2 世代更新度の推移 (筑前海区)

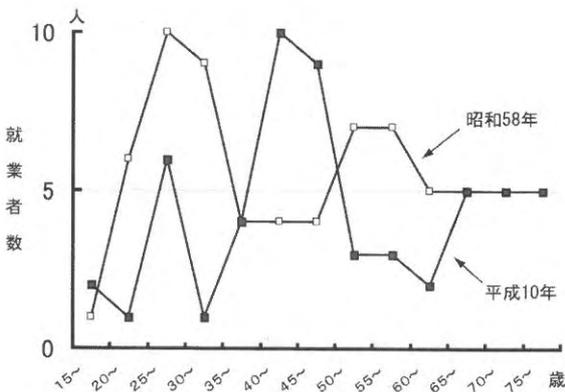


図2-3 年齢構成の推移 (小呂島支所男性)

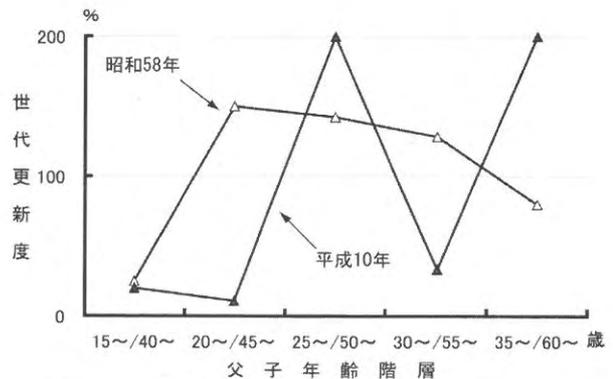


図3-3 世代更新度の推移 (小呂島支所)

徐々に減少しており、このため、相対的に固定式刺網の比率が増加した結果と考えられた。

次に、従たる漁業種類別就業者数を表2-1・2に示した。平成3年・15年とも1位：中型まき網、2位：なし（主たる漁業のみ）の順であり、いずれも両者でほぼ100%を占めていた。その内訳を見ると、従たる漁業なしが約8ポイント減少しており、水揚げの減少等から、従来主たる漁業のみで操業できていた漁業者が、収益確保を図るため、他の漁業も操業するようになったことも考えられるが、聞き取り調査の結果では確認できなかった。

文 献

1) 加瀬和俊：沿岸漁業の担い手と後継者—就業構造の

現状と課題一，初版，成山堂書店，東京，1988，pp. 77-81.

- 2) 宮本博和，太刀山透，濱崎稔洋：福岡県における漁業就業構造の現状。福岡県水産海洋技術センター研究報告，第1号，243-254（1993）
- 3) 宮本博和：我が国周辺漁業資源調査—鐘崎漁協における漁業就業構造の変化一，平成14年度福岡県水産海洋技術センター事業報告，1-3（2004）
- 4) 秋本恒基：我が国周辺漁業資源調査—新漁業管理制度都道府県実施事業—（福岡市漁協小呂島支所におけるまき網漁業実態），平成12年度福岡県水産海洋技術センター事業報告，1-3（2002）

表1-1 主たる漁業種類別就業者数・割合（平成3年，小呂島・男性）

順位	漁業種類名	就業者数 (人)	割合 (%)	累積割合 (%)
1	固定式刺網	41	69.5	69.5
2	一本釣	17	28.8	98.3
	不明	1	1.7	100.0
	計	59	100.0	100.0

表1-2 主たる漁業種類別就業者数・割合（平成15年，小呂島・男性）

順位	漁業種類名	就業者数 (人)	割合 (%)	累積割合 (%)
1	固定式刺網	46	78.0	78.0
2	一本釣	12	20.3	98.3
3	中型まき網	1	1.7	100.0
	計	59	100.0	100.0

表2-1 主たる漁業種類別就業者数・割合（平成3年，小呂島・男性）

順位	漁業種類名	就業者数 (人)	割合 (%)	累積割合 (%)
1	中型まき網	40	67.8	67.8
2	なし	18	30.5	98.3
	不明	1	1.7	100.0
	計	59	100.0	100.0

表2-2 主たる漁業種類別就業者数・割合（平成15年，小呂島・男性）

順位	漁業種類名	就業者数 (人)	割合 (%)	累積割合 (%)
1	中型まき網	43	72.9	72.9
2	なし	13	22.0	94.9
3	一本釣	3	5.1	100.0
	計	59	100.0	100.0

豊前海一粒カキパワーブランド育成事業

池浦 繁

現在、豊前海ではかき養殖が新しい産業として発展してきているが、主な消費地が豊前海沿岸地域に限られているため、市場への出荷が集中すると値崩現象が生じる状況にある。そこで、福岡都市圏をにらんだ消費地拡大（市場出荷や宅配の普及）とあわせてカキのブランド「豊前海一粒かき」を推進することで養殖生産の向上と漁家経営の安定を図るものである。今年度は、県下各地に配属されており地域の偏りが発生しにくいことから県職員を対象としたアンケート調査による消費者意識の把握を行い、今後の豊前海一粒かきの販路拡大に関する調査を実施した。

方法

消費者意識調査は、県内のエリア別の状態を把握するため、県内各地に職員が配置されており、ある程度の回収率が見込めることから県出先機関の職員を対象とした。'03年9月に、県全出先機関に職員数分の調査票を配布してアンケート調査を依頼した。

アンケート内容を別表1に示した。一般的な魚食関係の設問17問、カキに関する一般設問8問、豊前海一粒かきに関する設問8問としているが、今回はこのうちカキに関する設問について報告する。

結果

アンケート配布数は6,475枚で回収率は74.3%であった。アンケートとしては、県職員の家族に記入してもらう前提であったが、結果として大半の84.6%が県職員本人からの回答であった。県職員と家族による回答の違いや男女による回答の違いはあまり見られなかったことから、基本的に解析は県職員本人、家族、性別の区分なく取り扱い、差が見られた項目については区分して取り扱った。

普段からカキを食べるかという設問では、49.0%の人が食べると答えた（図1）。これを回答者の居住地を主要自治体別に見ると、49～62%の人が普段からカキを食べると答えていたが、居住地域による明確な差は見られ

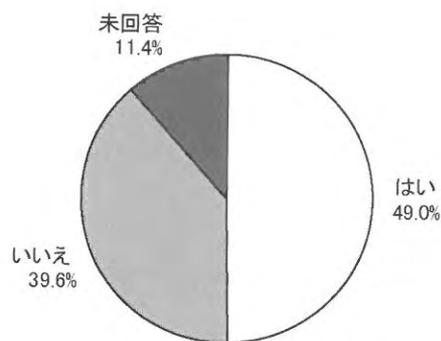


図1 普段からカキを食べるか

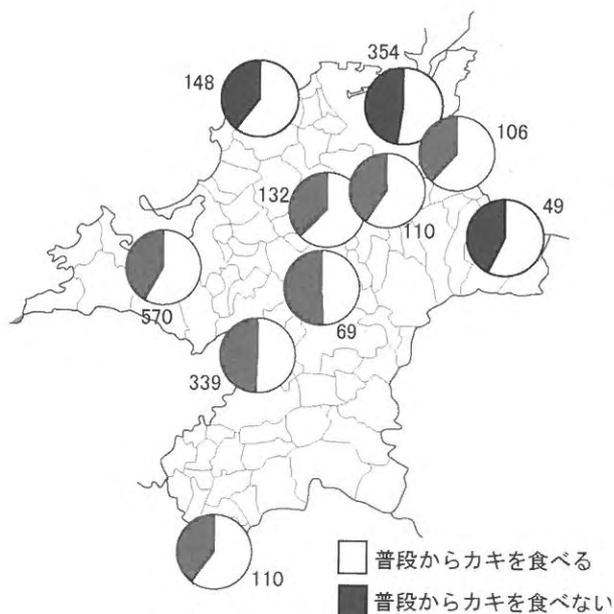


図2 カキを普段から食べるか
(県内主要自治体別, 数字はデータ数)

表1 魚の嗜好性とカキの嗜好性

魚介類を食べること	全体に対する比率	普段からカキを食べるか		
		食べる	食べない	未回答
好き	67.6%	54.6%	34.0%	11.4%
どちらといえば好き	24.4%	40.5%	48.9%	10.6%
どちらかといえば嫌い	6.0%	26.3%	60.9%	12.8%
嫌い	0.7%	12.1%	72.7%	15.2%

なかった（図2）。

魚介類の嗜好性とカキを普段から食べるかどうかにつ

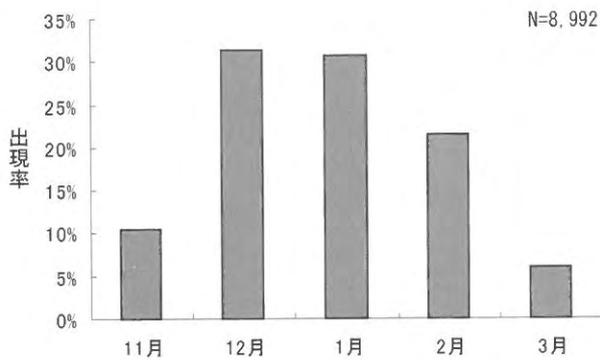


図3 カキを食べると答えた時期 (複数回答)

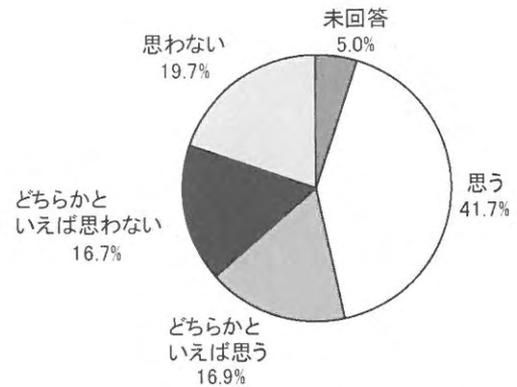


図6 おいしいカキであれば殻付きカキを剥いて食べようと思うか

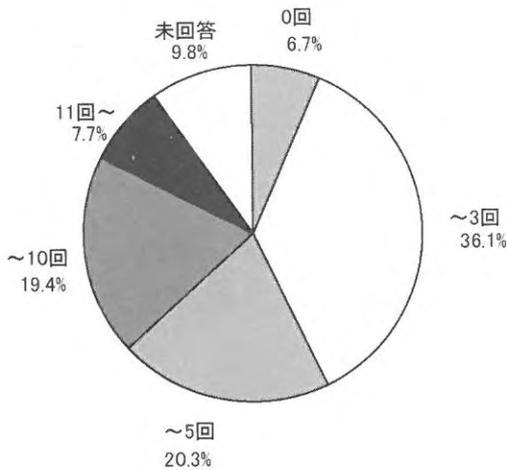


図4 冬場何回くらいカキを食べるか

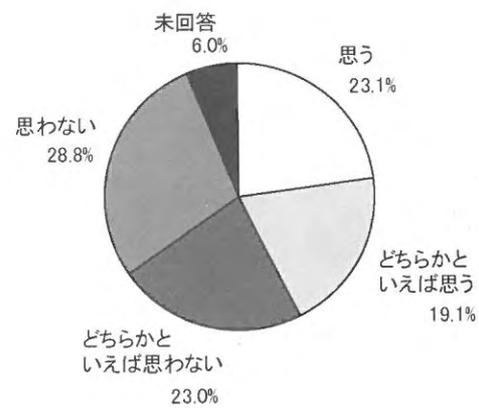


図7 おいしいカキであれば宅配などで購入しようと思うか

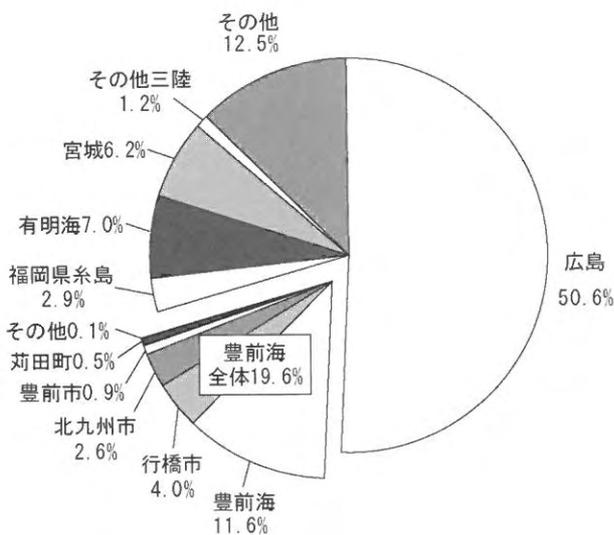


図5 カキ産地知名度 (N=6,773, 複数回答)

表2 おいしいカキであれば殻付きカキを剥いて食べようと思うか (男女別)

性別	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない
男性	1,217 (47.9)	438 (17.3)	405 (16.0)	479 (18.9)
女性	711 (38.2)	343 (18.4)	373 (20.1)	433 (23.3)

()は性別に占める割合 χ^2 検定 $p < 0.01$

いてみると、魚介類を好きな人の方がカキを普段から食べており、嫌いな人ほどカキも食べない傾向があった(表1)。しかし、魚介類を食べることが好きな人の中でもカキを普段から食べると答えた人は54.6%であった。

カキをいつ頃食べるかという設問では、1月以降もカキを食べると答えた人が58%おり、年明け以降もカキの需要はあることが推察された(図3)。

冬場何回くらいカキを食べるかという設問では、3回

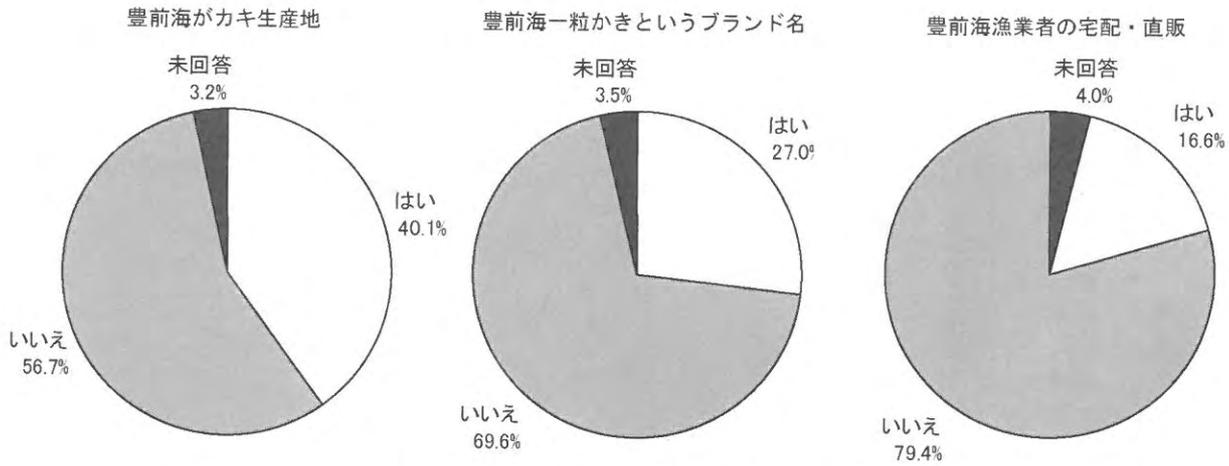


図8 豊前海のカキに関する知名度

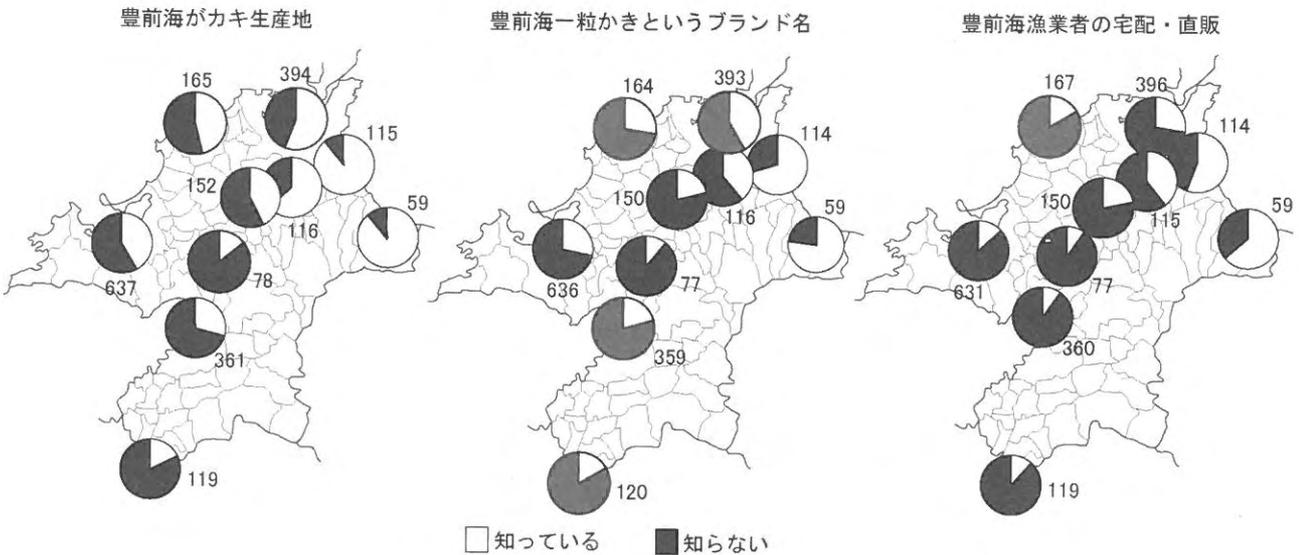


図9 主要自治体別豊前海のカキに関する知名度（数値は回答者数）

表3 豊前海がカキ生産地であることの知名度（詳細）

区分	知っている	知らない	備考
男性	1,207 (47.0%)	1,363 (53.0%)	χ^2 検定 $p < 0.01$
女性	658 (34.5%)	1,250 (65.5%)	
県職員本人	1,698 (42.6%)	2,291 (57.4%)	χ^2 検定 $p < 0.01$
家族	228 (34.4%)	435 (65.6%)	

表4 豊前海一粒かきというブランドの知名度（詳細）

区分	知っている	知らない	備考
男性	794 (31.0%)	1,768 (69.0%)	χ^2 検定 $p < 0.01$
女性	459 (24.1%)	1,448 (75.9%)	

表5 豊前海漁業者の宅配・直販の知名度（詳細）

区分	知っている	知らない	備考
男性	482 (18.8%)	2,078 (81.2%)	χ^2 検定 $p < 0.01$
女性	289 (15.3%)	1,603 (84.7%)	

以内が最も多く36.1%，ついで5回が20.0%であった。10回以内までで75.8%であった（図4）。

カキ産地の知名度では、広島という答えが最も多く全体の50.6%を占めたが、次は豊前海の19.6%であり、豊前海がカキ生産地であることの浸透が見られた（図5）。

年明け以降、カキの身入りが良くなることを知っているかという設問では、28.3%の人が知っていると答えるに留まった。

おいしいカキであれば殻付きのカキを剥いて食べよう

と思うかという設問に対して思う・どちらかといえば思うと答えた人は合わせて58.6%であった（図6）。男女別に見ると、男性の方が女性よりも殻を剥いても食べたいという意見が多くなっていった（表2）。

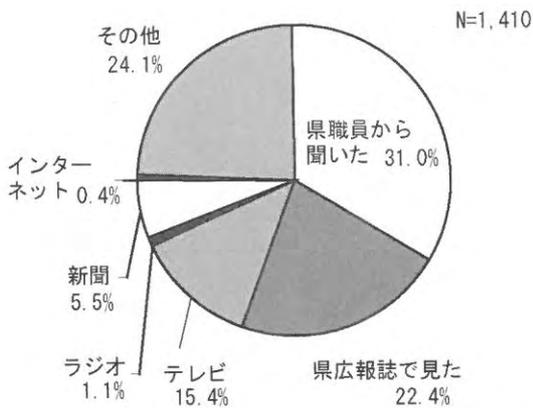


図10 豊前海漁業者の宅配・直販を知った方法

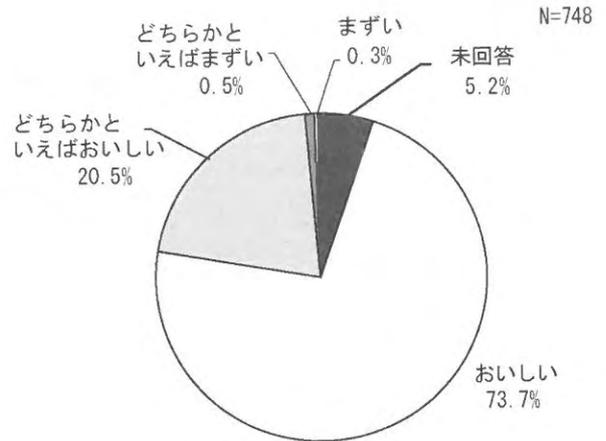


図12 豊前海一粒かきの味の評価

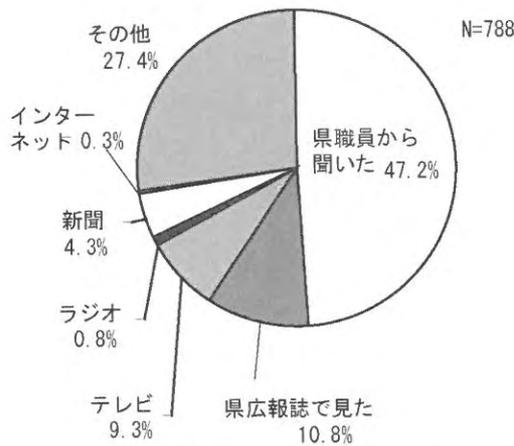


図11 豊前海漁業者の宅配・直販を知った方法

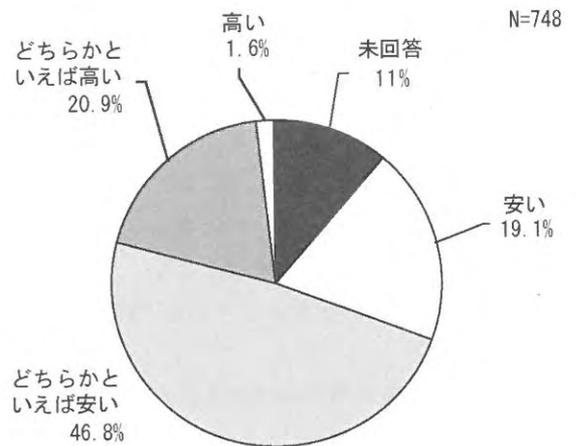


図13 豊前海一粒かきの価格の評価

おいしいカキであれば宅配などで購入しようと思うかという設問に対しては、思う・どちらかといえば思うと答えた人は合わせて42%であった（図7）。

豊前海が生産地であることの知名度、「豊前海一粒かき」の知名度、豊前海でカキの宅配・直販を実施していることに対する知名度を図8に示した。豊前海がカキ生産地であることは40.1%の回答者が知っていたが、豊前海一粒かきというブランド名では27.0%、豊前海漁業者の宅配・直販では16.6%が知っているに留まった。

豊前海がカキ生産地であることについては、男性の方が女性よりも認知度が高く、また県職員本人の方が家族よりも認知度が高くなっていた（表3）。豊前海一粒かきというブランド名と豊前海漁業者の宅配・直販の実施では男性の方が認知度が高かった（表4、表5）。

次に、回答者が居住する主要自治体別に知名度をみると、北九州市、行橋市、豊前市といった生産地に近い自

治体ほど高く、逆に久留米市、大牟田市といった生産地から遠い自治体ほど低くなる傾向を示した（図9）。

豊前海一粒かきというブランドを知った方法では、県職員を対象としたアンケート調査であるため、県職員からの口コミと県広報誌によるものをあわせると全体の53.4%を占めた（図10）。

豊前海での宅配・直販を知った方法では、県職員からの口コミが47.2%とほぼ半数を占めた（図11）。

豊前海一粒かきの購入実績がある人は全体の15.6%であった。購入実績のある人の味の評価は、94.2%の人がおいしい・どちらかといえばおいしいと答えた（図12）。

価格については安い・どちらかといえば安いと答えた人が65.9%を占めたが、高い・やや高いと答えた人が22.5%いた（図13）。

考 察

カキの需要期については、漁業者が実施している宅配では年末に集中する傾向が強いが、アンケートでは年明け以降もカキは普通に食されていることから、宅配の年末集中は贈答品としての注文であると推測される。

生産地では直接販売を実施しているが、県内で最大の都市圏である福岡市周辺から生産地である豊前海沿岸地区までの移動時間は2時間前後を要する。安い魚介類が産地で購入できる場合に産地まで出向くと答えた人は全体の50.7%であったが、出向く場合の移動時間の限界は60分以内が81.7%であったことから（図14）、直販で新規に販路を拡大できる可能性があるのは北九州都市圏であると考えられる。

県職員特有であろうが、豊前海一粒かきや豊前海漁業者の直販・宅配を知った方法では、県職員からの口コミや県広報誌が大きな比重を占めた。これは関係職員が県職員内部でのPRを行ったり、広報誌を積極的に活用していることに由来しているものと考えられる。このことは、一般的なマスメディアだけではなく、関係職員の人的PR活動や職場発行される冊子類もPR効果が高いことを示している。

豊前海一粒かきの購入実績のある人の味の評価は非常に高いと言えるが、価格についてはどちらかといえば安いという答えがほぼ半数で、味の評価ほどの積極的な肯定ではないと考えられる。宅配では生産者によって価格を制御できるという大きなメリットがあるが、送料が上乘せられるため消費者にとっては多少の割高感が生じているものと考えられる。

カキの産地としては広島に次いで認知されているものの、産地から遠ざかると知名度がかなり低くなること、県職員でも宅配や直販を知っている人は16.6%に留まっているなど、認知度の低さが促販の大きな問題であると考えられる。特に、豊前海で漁業者が直販・宅配を実施していることの知名度が、「豊前海一粒かき」というブランド名の知名度よりも低いという現状は、最終目的がカキの販売促進であるという点から大きな問題であると考えられる。自発的に新鮮な魚介類の情報を探すと答えた回答者はテレビ、情報誌といったマスメディアを利用しており（図15）、今後の販売促進にはブランド名以上に販売について重点を置く必要があると考えられる。また、マスメディアによる情報発信は一過性であるため、これだけに頼らずインターネット等を活用し、常設的な

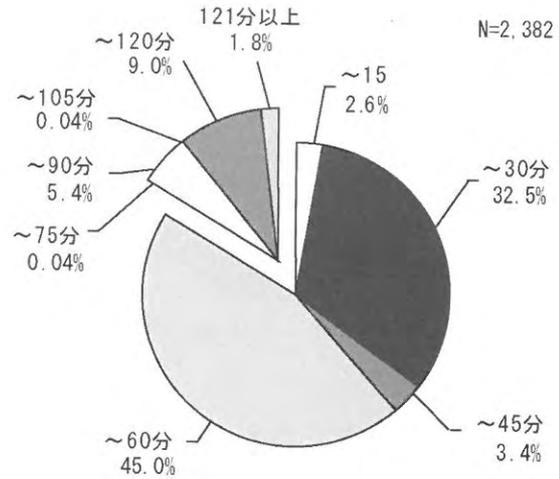


図14 生産地までの移動時間の限界

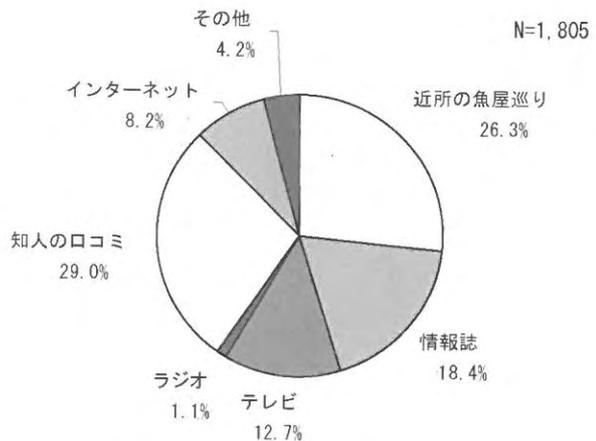


図15 新鮮な魚介類を探す方法

情報発信源を設けることが重要であろう。また、消費者アンケートの対象である県職員では、職員の人的PRや広報誌の効果が大きいことが示唆された。今後の販売促進に於いて、可能であれば自治体の広報誌などの活用は効果が大きいと推測される。

文 献

- 1) 秋本恒基ら：豊前海かき養殖業の現状と展開方向，福岡県水産海洋技術センター研究報告第12号，93-104（2002）

魚食及びカキに係るアンケート

このアンケートは、県下での魚食やカキに関する意識を調査して、県産養殖カキ「豊前海一粒かき」の今後の消費拡大の方策の検討に役立てようとするものです。県の全出先機関の職員のご家族（独身の場合ご本人）にアンケートの協力をお願いしています。設問の回答枝の中で、該当するものを1つ（複数回答可の設問は複数）を○で囲んでください。

【魚介類の購入と消費について】

Q 1. 魚介類を食べることは好きですか？

1. 好き 2. どちらかといえば好き 3. どちらかといえば嫌い 4. 嫌い

Q 2. 月何回くらい魚介類を食べますか？およそで結構です。 およそ 回位

Q 3. 魚介類のうち、鮮魚（冷凍や加工品ではない生の魚）を買いますか

1. よく買う 2. 時々買う 3. あまり買わない 4. 買わない

Q 3-2. よく買う、時々買うとお答えの場合、その理由をお教え下さい。

1. おいしい 2. 体によい 3. その他（ ）

Q 3-2. よく買う、時々買うとお答えの場合、購入1回当たりの金額はいくら位ですか？

およそで結構ですのでお教え下さい。 およそ 円

Q 3-3. あまり買わない、買わないとお答えの場合、その理由をお教え下さい。

1. 高い 2. まずい 3. その他（ ）

Q 4. 魚介類を買うときは、どんな店に行きますか（該当するもの全てを選んでください）

1. 近隣の魚屋 2. 近隣のスーパー等 3. 郊外の大規模店舗 4. 生産地の直売所
5. その他（ ）

Q 5. 魚介類を買うときは、どんな移動方法を用いますか（該当するもの全てを選んでください）

1. 徒歩 2. 自転車 3. バス 4. 電車 5. 自家用車
6. 生協等の宅配で注文するので買いに行かない 7. その他（ ）

Q 6. 魚介類を買いに行くとき、移動時間はおよそ最大何分以内ですか

およそ 分以内

Q 7. 新鮮な魚介類に興味がありますか？

1. ある 2. ない

Q 7-2. 興味があるとお答えの場合、魚介類の情報を自分で探すことがありますか？

1. ある 2. ない

Q 7-3. 探すことがあるとお答えの場合、どんな方法で探しますか？（該当するものを全てを選んでください）

1. 近隣の魚屋巡り 2. 情報誌 3. テレビ 4. ラジオ 5. 知人の口コミ
6. インターネット 7. その他（ ）

Q 8. 生産地でおいしい魚介類が安く手に入る場合、出向いて買いに行こうと思いますか？

1. はい 2. いいえ

Q 8-2. はいとお答えの場合、移動時間はどの程度が限度ですか？

およそ 時間 分

Q 8-3. いいえとお答えの場合、理由をお教え下さい。

1. 時間がかかるから 2. 交通費がかかるから
3. 1と2両方の理由 4. その他（ ）

Q 9. 新鮮な魚介類が宅配などで生産地から直接購入できる場合、利用しようと思いますか？

1. はい 2. いいえ

Q 9-2. はいとお答えの場合、1回当たりの宅配料金はいくら位が適切とお考えですか？

およそ 円位

[カキについて]

Q10. 普段からカキは食べますか

1. はい 2. いいえ

Q10-2. はいとお答えの場合、カキは好きですか？

1. 好き 2. どちらかといえば好き 3. どちらかといえば嫌い 4. 嫌い

Q11. カキはいつ頃食べますか。該当するものを全てを選んでください。

1. 11月 2. 12月 3. 1月 4. 2月 5. 3月

Q12. 冬場に何回くらいカキを食べますか？およそで結構です。 およそ 回

Q13. カキの産地で思いつく場所を教えてください（何カ所でも結構です）

()

Q14. カキは年明け以降に身入りが良くなる（太る）のをご存じですか？

1. はい 2. いいえ

Q15. おいしいカキであれば、殻付きのカキを自分で剥いて食べようと思いますか？

1. 思う 2. どちらかといえば思う 3. どちらかといえば思わない 4. 思わない

Q16. おいしいカキであれば、宅配などを利用して購入しようと思いますか？

1. 思う 2. どちらかといえば思う 3. どちらかといえば思わない 4. 思わない

[豊前海一粒かきについて]

Q17. 豊前海（北九州市～吉富町の福岡県瀬戸内海側）がカキの産地だと知っていますか？

1. 知っている 2. 知らない

Q18. 「豊前海一粒かき」というブランド名を知っていますか？

1. 知っている 2. 知らない

Q18-2. 知っているとお答えの場合、どのようにして知りましたか？

1. 県職員から聞いた 2. 県広報誌で見た 3. テレビ 4. ラジオ 5. 新聞
6. インターネット 7. その他

Q19. 豊前海の漁協や漁業者がカキを宅配したり直接販売しているのを知っていますか？

1. 知っている 2. 知らない

Q19-2. 知っているとお答えの場合、どのようにして知りましたか？

1. 県職員から聞いた 2. 県広報誌で見た 3. テレビ 4. ラジオ 5. 新聞
6. インターネット 7. その他 ()

Q20. 今までに「豊前海一粒かき」を買ったことがありますか？

1. ある 2. ない

Q20-2. 買ったことがあるとお答えの場合、味はどうでしたか？

1. おいしい 2. どちらかといえばおいしい 3. どちらかといえばまずい 4. まずい

Q20-3. 買ったことがあるとお答えの場合、価格はどうでしたか？

1. 安い 2. どちらかといえば安い 3. どちらかといえば高い 4. 高い

Q21. 最後に、回答していただいた方についてお教え下さい。

・お住まいの地域	市・町・村	区・町
・県職員との関係	配偶者・子・親・親族・本人・その他	
・性別と年齢	男・女 歳	
・ご職業	主婦・会社員・公務員・自営業・パート アルバイト・学生・その他	

ご協力ありがとうございました。